

がおよげないりすさん

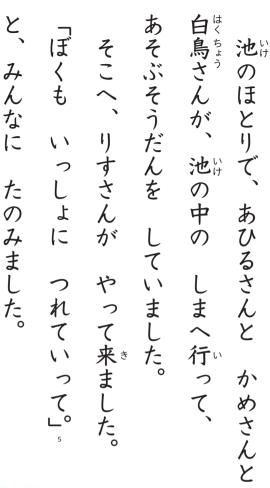
なかよくできているかな。 あなたは、だれとでも











「りすさんは、およげないから、だめ』

すると、みんなが言いました。

そしてみんなは、すうっと池に入ると、





しまの方へおよいでいってしまいました。

みんなは、しまに つきました。

しまには、すべり台やぶらんこがありました。

けれど、あそんでいても、ちっとも楽しく

ありません。

「やっぱり、りすさんが いたほうがいいね」

「でも、りすさんは およげないからな」

白鳥さんとあひるさんが、言いました。

「そうだ、いい考えがある。」

かめさんは

しばらくしてから、

と言いました。

10

つぎの日、りすさんが、

池のほとりに行ってみると、

みんなが りすさんをまっていました。

「りすさん、きのうはごめんね」

「きょうは、りすさんもいっしょに

しまへ行こうよ。」

白鳥さんとあひるさんが、はくちょう

言いました。

かめさんが、

「りすさん、ぼくのせなかにっ

のってくれないかな。

と、声をかけました。

りすさんは、にこにこしながら、



しまへ 行きました。りすさんを かこんで、みんなでかめさんの せなかにのったかめさんの せなかにのった



おのせ みのる 作 ◆ いちい みか 絵

かんがえよう・はなしあおう



ついて、考えましょう。なかよくすることの大切さに自分と、ちがうところがあっても

- ●したでしょう。えんじてみましょう。楽しくない三びきは、どんな話を●しまであそんでいても、ちっとも
- どんなことを 思っていたでしょう。しまへ行くとき、三びきは、●りすさんも いっしょに

つなげよう

答>

どんなときかな。 分かっているのに、できなくなるのは、「だれにたいしても「同じように」って

SDGs